

2026（令和8）年度
 大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程
 （一般入試）入学試験＜冬期＞
 「専門科目B（教育学系）」問題用紙（Question Sheet）

※以下の欄は、試験開始の合図の後に記入してください。

研究分野 field of specialization	
受験番号 examinee number	

【注意事項】

1. この「問題用紙」は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
 Do NOT open the “Question Sheet” until the examiner signals the start of the exam.

2. 試験開始の合図の後、受験票に記載の志望する「研究分野」及び「受験番号」を上記の欄及び別に配付された「解答用紙」の所定の欄に正確に記入してください。
 After the signal to start the exam is given, please accurately fill in the “field of specialization” and “examinee number” written on your examination voucher in the above-mentioned spaces on this form and in the designated spaces on the “Answer Sheet” distributed separately.

3. 解答はこの「問題用紙」内に記載のある指示に従い、「解答用紙」の所定の解答欄に正確に記入してください。
 配付されている下書き用紙に記入しても、採点はされません。
 Follow the instructions on the “Question Sheet” and write your answers accurately in the designated spaces on the “Answer Sheet.”
 If you write your answers on the provided draft paper, they will not be graded.

4. この「問題用紙」及び「解答用紙」のホッチキス止めは、はずさないでください。
 Do NOT detach the staples from the “Question Sheet” and “Answer Sheet.”

5. この「問題用紙」及び「解答用紙」は、持ち帰ってはいけません。
 Do Not take the “Question Sheet” and “Answer Sheet” home with you.

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程（一般入試）入学試験＜冬期＞問題用紙

試験科目	専門科目B（教育学系）
------	-------------

（4枚中の1枚目）

すべての受験生に対する注意

Please note the following.

あなたが志望する研究分野の設問に答えなさい。

Answer the questions corresponding to your proposed field of specialization.

1) 問題は2問あります。2問とも答えなさい。

There are two questions in this section. Answer both questions.

2) 問題I、問題IIの問題ごとに解答用紙は別ものを使用し、解答用紙の冒頭に解答する問題番号を記入すること。

Please answer on the designated answer sheet and mark clearly which question you are answering.

3) 指定された解答用紙に書ききれない場合は、その解答用紙の裏面を使用すること。

If you completely fill the front side of the answer sheet, you may turn over and continue on the reverse side of sheet.

4) 特に指定がない場合には、日本語で解答すること。

Please answer in Japanese, except indicated otherwise.

教育人間学

問題I 災厄／厄災とは何かを説明しなさい。また、災厄／厄災の経験について、現在の自分の研究テーマと関連づけつつ、教育人間学的観点から論じなさい。

問題II 教育人間学・教育哲学・教育思想史にとって「臨床的であること」とは具体的にいかなることを説明しなさい。また、今日の教育現場または教育学にとって「臨床的であること」の意義と課題を、あなた自身の博士前期課程における研究主題・研究方法・研究計画と関連づけながら、かつ論拠（例えば、研究者名や研究書の書誌情報など）を示しつつ論じなさい。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程（一般入試）入学試験＜冬期＞問題用紙

試験科目	専門科目B（教育学系）
------	-------------

（4枚中の2枚目）

教育工学

問題Ⅰ 「メタバース」と呼ばれるようなオンライン上で複数の参加者が同時に参加できる仮想空間について、教育における活用の可能性と課題や限界について論じなさい。

問題Ⅱ 次の問いの中から3つを選び、それぞれについて答えなさい。なお、選択した番号を明記すること。

- 1) 日本における「高校教育改革」の現状について説明しなさい。
- 2) 自己決定理論に基づく「自律性支援」について説明しなさい。
- 3) 「教育目標のタキシノミー」について説明しなさい。
- 4) 教育工学の研究設計において、「研究対象者のサンプリングの問題」について、どのような注意が必要かを述べなさい。
- 5) 比率尺度と間隔尺度の違いについて述べなさい。
- 6) 「2要因参加者内計画」について、仮想の教育工学研究の例を用いて説明しなさい。

教育心理学

問題Ⅰ 教育心理学及び発達心理学に関連する次の用語のうち3つを選び、具体的に説明しなさい。なお、解答には番号を記載すること。

- 1) アクティブラーニング（active learning）
- 2) 正統的周辺参加（legitimate peripheral participation）
- 3) ストレンジ・シチュエーション法（strange situation procedure）
- 4) 社会的参照（social referencing）
- 5) 同化と調節（assimilation and accommodation）

問題Ⅱ 近年、逆境的小児期体験（Adverse Childhood Experiences: ACEs）の影響を緩和する保護的・補償的体験（Protective and Compensatory Experiences: PACEs）への注目が集まっている。保護的・補償的体験の効果を明らかにするための量的研究及び質的研究の計画を立てなさい。なお、それぞれの研究計画について、①研究の目的、②手続及び分析方法、③予想される結果、④実施上の留意事項を明記しなさい。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程（一般入試）入学試験＜冬期＞問題用紙

試験科目	専門科目B（教育学系）
------	-------------

（4枚中の3枚目）

臨床心理学

問題Ⅰ 次のすべての問いに答えなさい。

- 1) 心理療法における沈黙の意義について述べなさい。
- 2) 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防における産業カウンセラーの役割について、具体例を挙げつつ知るところを述べなさい。

問題Ⅱ 次のすべての用語について簡潔に述べなさい。

- 1) ラポール
- 2) 抑うつポジション
- 3) t検定
- 4) ノーマライゼーション（Bank-Mikkelsen）

教育社会学

問題Ⅰ オンライン学習環境の整備や、不登校児童生徒の増大といった教育環境の変化により、学校教育の社会的役割が変容しつつある。こうした現状をふまえ、以下の問いに答えなさい。

- 1) 従来の学校教育が果たしてきた社会的役割について、社会学的に説明しなさい。
- 2) 上記のような教育環境の変化によって、今後の学校教育が果たす社会的役割にどのような変化が生じ得るか、社会学的な理論・概念を用いて、あなたなりの予想を述べなさい。

問題Ⅱ 次のすべての事項について、番号を明記した上で、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- 1) 文化資本
- 2) メリトクラシー
- 3) トラッキング
- 4) 帰無仮説

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程（一般入試）入学試験＜冬期＞問題用紙

試験科目	専門科目B（教育学系）
------	-------------

（4枚中の4枚目）

教育文化学

問題Ⅰ 現代日本には様々な「教育格差」の問題がある。「教育格差」を定義したうえで、任意の「教育格差」問題を取り上げ、その現状とそれを克服するための方策を論じなさい。

問題Ⅱ 次の用語の中から4つを選び、それぞれについて簡潔に説明しなさい。なお、選択した番号を明記すること。

- 1) 社会学的想像力 (sociological imagination)
- 2) 個人化 (individualization)
- 3) 応答責任 (responsibility) と説明責任 (accountability)
- 4) 批判的リテラシー (critical literacy)
- 5) 社会教育
- 6) 子どもの権利条約 (児童の権利に関する条約)